

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。
今月分の請求書をご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつも大変お世話になっております。

花壇のお花が次々と満開になり、日差しは初夏を感じさせる今日この頃です。あっという間に春は過ぎ去っていきますね。皆さまはいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

昨年のゴールデンウィークに訪れた信楽陶器市・作家市がとても楽しかったので、今年も信楽へ足を延ばそうかなあ～・・・なんて思っていたら、Instagram に各地の陶器市の情報が流れてきました。近場の橿原神宮でも全国大陶器市をやっていると知り、今年は橿原神宮へ行ってまいりました。

本当のことをいうと、お皿もお碗もマグカップも十分あるし、買う必要ないのです。それなのに「陶器市」という言葉になんとなく心惹かれるのはどうしてなのか？自分でもわからないけれど、ChatGPT ならどう答えるんだろう？・・・ちょっと聞いてみました！

「おそらく、陶器市の魅力って「器そのもの」だけじゃなくて、そこにある雰囲気や体験全体なんですよ。焼き物の町の空気、手に取るときのワクワク感、作家さんとのちょっとした会話、たくさんの器の中から宝探しをするような高揚感……。

それに、器って「使う道具」だけど、同時に「日常の中の小さな芸術」でもありますよね。見てだけで心が動くし、手に取ると「これで何を食べよう」なんて想像がふくらむ。その想像の時間が楽しくて、気づけばまた足が向いてしまう。

もう器は十分あっても、「暮らしを楽しむ気持ち」を満たす場所として、陶器市はすごく魅力的なのかもしれません。」

なるほど～深いな～。それにちょっとお得に買えるのも嬉しいですよ！

そういうわけで、今年は近場の橿原神宮へ。我が家から1時間ほどで到着です。

特設会場の参道の両脇のテントには、有田焼、信楽焼、波佐見焼、九谷焼、美濃焼など、全国各地の陶器店がずらっと並んでいて、大勢のお客様でにぎわっていました。

まずは参道の左側の会場に入りました。狭いテントの中は満員電車状態。商品をじっくり眺める余裕もなく、人の流れに押し出されるように外へ出てしまいました。

気になる商品が二つあったので、再度流れに飛び込みました。ひとつはちょっと大きめの器・・・小さな我が家のキッチンでは置き場所にも困るし、持って帰るのが重いな・・・。もうひとつは、小さな信楽焼のタヌキが目に留まりました。寝転がってリラックスしているユーモラスで可愛いタヌキの置物です。どちらも安いので躊躇なく買ってもよいのですが、一旦保留にし、本当に必要なのか己に問いかけることにしました。

次は反対側のテントに挑戦です。「波佐見焼」のブースは特に人気があり、一旦中に入ると前にも後にもなかなか進めない状態です。レジにも長い行列ができていました。人と人の隙間から眺めるくらいしかできずに、外に出てしまいました。波佐見焼はあきらめて、すこし空いているブースから再度潜入してみました。カラフルな九谷焼の小皿・・・素敵だけど、家で使う小皿にしては高価。うーむ、綺麗だけど必要ない。・・・だけど、せっかく来たのだから、何か買おうかなあ。でも要らないし。わざわざ来たのに買わずに帰る？・・・なんて悩みつつ、結局なにも買わずに帰ってきました。

見るだけでも楽しい陶器市♪GW 中、全国で陶器市が開催されているようです。益子焼、有田焼、土岐美濃焼、萩焼など、各地の陶器市にいつか足を運んでみたいものです。

もっと暑くなるかと思っていましたが、GW はさわやかで過ごしやすかったです。5月後半は暑くなるようです。皆さまもお身体を大切に、心地よい毎日をお過ごしくださいませ。



大勢のお客様でにぎわっていました！



せっかくなので橿原神宮にもご挨拶



緑が気持ちいい～



近くの橿原考古学研究所附属博物館へ
埴輪が大きくてビックリ！

今月も最後までお読みいただき
ありがとうございました。

来月もよろしくお願いいたします。